

令和7年度 宮古島市立西辺中学校グランドデザイン

学校教育目標 自ら学び、心身ともに健やかで思いやりのある生徒の育成

《目指す生徒のすがた》 自分自身を大切にできる生徒

- 見通しを持ち、自ら学ぶ生徒
- 豊かな感性を持ち、心身ともに健康な生徒
- 自他を大切にし、思いやりのある生徒

《目指す教師のすがた》 生徒一人ひとりを見守り、支援できる教師

- 明るく健康で感性豊かな教師
- 広い視野を持ち、生徒に寄り添う教
- 自ら学び続け、主体性と創造性を持った教師
- ※語り合い、高め合いできる職場づくり

《めざす学校のすがた》 生徒が一人一人が輝き、活躍できる学校

- 生徒を主体とした、安全・安心で楽しく通える学校
- 学びやすい環境を整え、豊かでうるおいのある学校
- 地域、保護者と課題を共有し、連携・協働する学校



校訓

文武両道

《育成したい資質・能力》

- 〈主体性〉○自ら考え、判断し、ねばり強くやりとげる力
- 〈創造性〉○豊かな感性や想像力を働かせ、表現する力
- 〈国際性〉○自分の考えを伝えたり、他者との良好な関係を築くコミュニケーション力
- 多様な他者の立場を理解し、協力し合って共に活動する力

本年度重点目標

あらゆる活動場面で主体的・協働的に高め合う生徒

「確かな学力」の向上

- 「自立した学習者」育成プロジェクト推進
- 「言語活動」「表現活動」の推進
- 個別最適な学び・協働的な学びの推進
- (UDの視点) (ICTの効果的な活用)

2 「豊かな心」の育成

- 「考え議論する」道徳の授業の充実
- 平和・人権教育の推進
- 居心地のいい学校、学級経営の充実
- (Web-QUの活用) (ハッピースマイル宣言)

3 「健やかな心身」の育成

- 自己管理能力育成と生活習慣の確立
- 健康で安全な生活の確立
- 豊かなスポーツライフの推進
- (ヘルスパスポート) (主体的な部活動)

エディテイメント(学びと遊びの融合)の取組で主体性や協働性を高める。

- ◎娯楽の要素を楽しみながら学びが深められる「案校」
- ・「お笑い！プロジェクト」(1人でペアやトリオで落語や漫才、コントに挑戦)
- ・「ワクワクプロジェクト」(生徒会によるレクリエーション)
- ・「コグトレ」「トレカゲーム」「ビブリアバトル」ゲーム感覚で認知能力やプレゼン力を高める。
- ・「マリンスポーツ」「1日まるごと海の日」地域の自然を「観る・知る・遊ぶ」
- ※エディテイメント＝「エデュケーション(教育)」と「エンターテイメント(娯楽)」を組み合わせた造語。

特に力を入れる場面

授業の場面では(主体性や協働性を引き出す授業改善)

- 生徒が主体的、協働的に取り組める単元、授業を意図的に設定する授業改善(主体的、対話的で深い学びの実現)

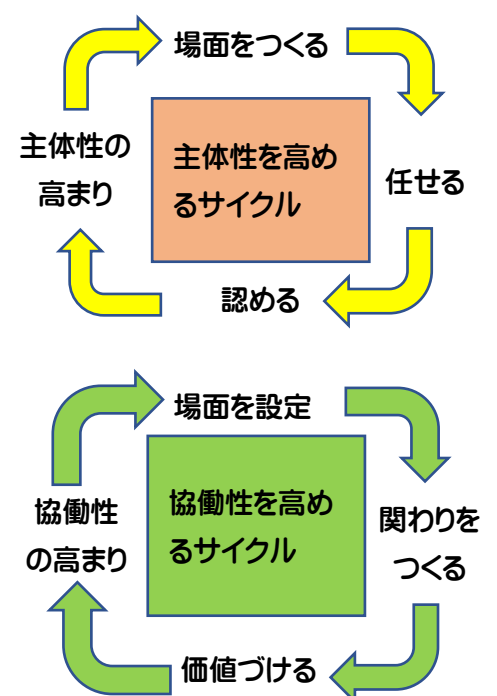
学級活動の場面では(主体性や協働性を引き出す学級活動)

- 学びに向かう集団づくりに向けて、一人ひとりの個性を尊重したルール、マナーづくりによる安心して発言・発表できる支持的風土の醸成(朝の会、帰りの会の工夫)

生徒会活動、部活動の場面では

- 生徒の自己決定や協働して課題を解決する場面を設定して、自治的活動の日常化を推進する。(異学年学習、ワクワクタイム)
- 生徒が主体となり、PDCAサイクルで運営する部活動の推進

重点目標に迫るために、あらゆる場面で2つのサイクルを機能させる。



目標に迫るための土台づくり

社会に開かれた教育課程

- 地域連携・協働の推進(学校運営協議会)
- 小中連携・協働の推進(小中合同職員会議)
- 島学び(スマナラウ)の推進
- ジュニアエコプロジェクト(県環境教育実践校)

教職員の専門性向上

- 主体的に学び続ける教職員をめざし、学校課題解決のための校内研修、専門性を高める積極的な研修会への参加。(R7からプラント活用)

学校職員の働き方改革

- 学校職員のウェルビーイングを目指した取組みの推進、心身共に健康でワークライフバランスの実現(ピースフルプランの推進)

「地域と共にある学校」を推進し、生徒・教職員のウェルビーイングの実現！